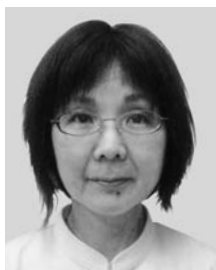


## 福井県獣医師会の学校飼育動物支援事業

大門由美子<sup>†</sup>（大門動物病院副院長・福井県獣医師会学校飼育動物対策委員会委員長）

福井県においても、学校で飼育されている動物に関する相談や治療は以前から個々の動物病院で行われていたが、獣医師会の事業として取り組み始めたのは、平成12年からになる。ずっと以前から学校にはチャボやウサギが飼育されていた。平成4年に生活科が

でき、その指導要領にウサギの飼育が明記されてから、ウサギを飼育する学校が増え、飼育上の問題も表面化してきたように思われる。言葉にできないような汚れた飼育舎の様子や動物病院に持ち込まれた動物の酷い状態をご覧になった方も多いと思う。「とにかく動物を飼育する」というところからスタートしている世界なので、気の毒な子ども達と現場の教師の力とならねばならない、と強く思うのは、動物が大好きなままで獣医師になった私にとっては当然の成り行きだ。しかし、動物愛護の観点から、学校で動物を飼育すべきではないという意見を持つ獣医師もいる。それでも福井県獣医師会学校飼育動物対策委員会として、家庭で動物が飼育されにくくなってきた現在（福井県でも、小学生のおよそ4分の1程度しか家庭で動物を飼育してない）、動物が子供にもたらず影響を失うのは、重大な損失であると考えている。

自分の子供が小学校へ通うようになると、より一層この問題が迫ってくる。わが子の最初の授業参観の時に、私は飼育舎の片隅で死んでいる鶏とその横を走りまわって遊んでいる子供たちの姿を見た。この時の心が底のない沼に落ちて行くような感覚を今も忘れることができない。

福井県獣医師会では、平成13年から毎年学校飼育動物に関する講演会を開催してきた。日本獣医師会学校飼育動物委員会委員 中川美穂子副委員長、国立教育政策研究所 鳩貝太郎統括研究官、文部科学省初等中等教育局 永田繁雄教科調査官、日本小動物獣医師会学校飼育動物対策委員会 宮川保委員長に数回来復し講演していただいた。講習会の対象は獣医師、教員、動物看護専門学校生、一般とその時々で様々であったが、実は毎回県内獣医師の参加が最も少なく、少々残念に思う。そのよ

うな中で実際に学校と関わりを持つのは、やはり相談窓口病院の半数に満たない。

それでも福井県獣医師会の中に学校飼育動物支援委員会を立ち上げてから8年が経ち、学校を支援する基盤はほぼできあがった。現在県内の96%の動物病院が支援窓口病院として参加し、県内220の小学校のうち毎年30～40の小学校、幼稚園保育園との関わりがある。主な活動として、動物の飼育相談や診療、学校訪問を無償で行っている。現在は参加獣医師に対し、獣医師会の予算から1校あたり1万円を支払っているが、費用の大部分は獣医師の善意によるところが非常に大きい。

昨年からは講習会開催に換えて学校飼育動物壁新聞の発行を行っている。これは他県の獣医師会で作成されている素晴らしいテキストに触発されて、本会でも何か作成しようという会員の意見を取り入れて始まった。飼育方法も説明したいが、それよりも「動物飼育はこんなに楽しいよ!」という感動を一人でも多くの先生や児童へ伝えたくて、また掲示板に貼ってもらうことで、保護者の目にも留まることを期待しての発行である。まず、学校での実践例と、そこに上げられた動物の簡潔な説明を載せることとした。実践例は実際に動物飼育している学校やクラスの教諭に原稿と写真を依頼し、動物の説明は委員の持ち回りで作成した。教諭にはこの壁新聞発行の趣旨を説明し、写真については児童が写っている場合は保護者の許可を得ている。さらに委員会の活動趣旨を理解し賛同してくれる印刷業者の協力も得て、優しい雰囲気壁新聞「ふんわり」が完成した。「ふんわり」は県内すべての小学校幼稚園へ教育委員会を通じて配布し、児童館や行政の施設へも掲示をお願いしている。まだまだ改良の余地があり、今後より多く掲示してもらえるように工夫してゆく必要がある。6月現在、3号の発行準備中である。

こうして完成した「ふんわり」の反響だが、実際はそれほどなく、掲示してある学校も少ない様子である。委員一同、一抹の寂しさを覚えている。面倒な動物飼育を積極的に行うには、かなりの労力が必要と思われるから無理もない。それでも飼育の面倒よりも楽しさのほうを強調して、より簡単で誰もが笑顔になるような動物との

<sup>†</sup> 連絡責任者：大門由美子（福井県獣医師会）

〒910-0005 福井市大手2-9-10 電気ビル1F

☎0776-28-1244 FAX 0776-28-1255

E-mail : fukuijuu@angel.ocn.ne.jp

関わりを今後も紹介して行く方針でいる。動物の福祉を最もよく理解している我々獣医師が、動物飼育のお手本を示すことによって、子ども達の成長を見守るお手伝いができたら幸いである。今後も全国の学校飼育動物担当

の先生方にご指導を仰ぎながら、地道な活動として継続していく予定である。なお、「ふんわり」についてはまだ福井県獣医師会事務局に在庫も少数あるので、ご希望の際は是非問い合わせさせていただきたい。